

「点訳のてびき 第3版 Q & A」

※ それぞれの質問文は一切変更しません。

第2章

Q 3	参照箇所	p23 (5) 、 p26 2. 、 p28 3、 p29<処理 2 >
Q 4	参照箇所	p26<処理 4 >
Q 5	参照箇所	最後の一文を《p26<処理 2 >も参考にしてください。》に変更
Q 7	参照箇所	p28<処理 >
Q 9	用語変更	点訳者挿入符 → 点訳挿入符
Q 10	差し替え	数符を前置し、4桁までは一続きに書くという規則に従って「数5000」と書きますが、【備考】にありますように仮名で「セン」と書くこともできます。「3ゼンオク」も、本則に従えば「数3000=オク」と書きます。
Q 11	差し替え	文脈によって数字と仮名を使い分けるのではありません。「十」は仮名で書くことも数字で書くこともできます。仮名で書くか、数字で書くかは各施設・団体に決めてください。
Q 12	参照箇所	p41 5. にあるとおり、 p31 1. 【備考】を採用して～
Q 16	差し替え	p42 3. <処理>、p76「7. 数字を含む複合語」<処理>を参照してください。「PARTⅢ」、見出しのⅠ、Ⅱ、Ⅲなどは「第八章」と同様に数字に代えて点訳することができます。「コロナマークⅡ」のような固有名詞の場合は、原文の通りローマ数字を用いるのが一般的です。
Q 17	差し替え	「コラム9」に「NTT communications」の例があるように略称と外国語が複合した場合は一つの外国語引用符で囲んで書きますので、「USA-TODAY」がハイフンでつながれた1語であれば、外国語引用符で囲んで書きます。その場合、外国語引用符の中は英語点字のルールになりますので、記号類の使い方には注意が必要になります。 ハイフンでつながれた語がすべて大文字の場合は、ハイフンの後ろに二重大文字が必要になります。ですから、「USA-TODAY」は、引大大USA=大大TODAY引 と書きます。なお、ハイフンの後が小文字の場合や、一文だけ大文字の場合は、USA-today 引大大USA=today引、USA-Today 引大大USA=大Today引となります。
Q 18	第1段落差し替え	「表記法2018年版」では、p28【備考】に外字符の有効範囲の記述があり、「スラッシュ」が含まれています。
Q 22	参照箇所	p239

第3章

Q24	参照追加	なお、4版ではp54<処理>を新設しています。
Q26	参照追加 一部削除	Q26の最後に (p61 7. (1)参照) を追加。二つ目の《Q》《A》削除。
Q27	一部差し替え	2段落目の最初の文を削除し、《p60 6. にはこのような例を多く載せています。》を入れる。「ないーぶネット」→「サピエ図書館」
Q30	一部削除	《Q》《A》削除
Q31	一部削除	《Q》《A》削除
Q37	参照箇所	p74 「コラム18」
Q38	参照箇所	「オモシロ■ハンブン」 (p42)
Q40	参照箇所	p67【備考1】
Q41	2段落以降 差し替え	「詐欺まがい」は本則に当てはまるとして区切って書きます。「芝居もどき」は、接尾語と考えて続けて書きます。
Q44	一部 差し替え	一つ目の《A》を《「右半分」は「右半身」と違って複合名詞とは言い難い語として区切って書きます。》に差し替え。 二つ目の《A》の1段落目の「ただし、」以降を《ただし、「右半分」はp69【備考】にあるように、複合名詞とは言い難い語として、「足全体」「水自体」と同じように区切って書きます。》に差し替え。2段落目の文から「足全体」を削除。
Q46	一部 差し替え	二つ目の《A》 「2字漢語は、2拍であっても自立した意味のまとまりとして扱う」
Q47	差し替え	「ただし、3. については」以降すべて削除。《p71～p74 「5. 外来語」を参照してください。》とする。
Q48	回答一部差 し替え及び 最後に追加	第1段落を《外来語を含む混種語（外来語＋漢語・和語）の場合は、p73(2)(3)から相手が漢語・和語の自立可能な意味の成分（漢語は2字2拍以上、和語は3拍以上）であれば、2拍の外来語は区切って書きます。》とする。 最後に 《p73 (4) 参照》を加える。
Q49	一部差し替 え	二つ目の《A》最初の段落を削除し、《「英文学者」は「文学」の前に「英」が付き、後ろに「者」が付いてできた語と考えて続けて書くこともできますが、「点訳ナビゲーター」では「英文」にも「学者」にも意味のまとまりが生じていると考えて区切って書くことをお勧めしています。》を入れる。

Q50	差し替え	p75 6. に取り上げ、参考で補っています。「UVケア、ICタグ」のように相手が2拍の外来語の場合は区切って書きますが、「Yシャツ、Tシャツ」はアルファベットが当て字的に用いられ一語としてのつながりが強いことから続けて書きます。「ホワイトシャツ」から「ワイシャツ」になったとされる「Yシャツ」と違い、「Tシャツ」の「T」は形を表すとも言われますが、異なる処理をすると違和感が生じることから同じ扱いにしています。
Q51	参照追加	最後に (p75 7. 参照) を追加。
Q52	参照箇所	p80 「コラム19」
Q53	用語変更 参照箇所	意味の理解を損なう → 意味の理解を妨げる 《A》p63 1. 【備考】
Q54	削除	
Q55	参照箇所	「てびき」では、p78 2. 【備考2】 「表記法」p51【注意3】
Q56	参照箇所	p78 2. 【備考3】
Q58	参照箇所	複合語 13. → p82 3.
Q59	参照箇所	《A》p117
Q60	一部削除 用語変更	「繰り返し言葉は～変わりました」を削除。《Q》《A》削除 理解を損なう → 理解を妨げる
Q61	用語変更	理解を損なう → 理解を妨げる
Q62	参照箇所	p87 その3 固有名詞の前文
Q63	参照箇所	p84 2.
Q66	参照箇所	なお、p96 コラム22「中国・朝鮮の固有名詞の読み」を～
Q68	差し替え	この<処理>は、「書き表す必要がある場合」について述べています。なお、本則にあるように、特に書き表す必要がない場合は「レオナルド■ダ■ビンチ」と書きます。
Q69	一部削除	《「てびき」でも「点訳のてびき第3版～用例の変更がありませんでした。》を削除
Q70	用語変更	理解を損なう → 理解を妨げる
Q71	参照箇所	p64
Q72	削除	Q72を削除。《Q》《A》はそのまま残す。

Q75	参照箇所	p90
Q76	参照箇所	《A》 p89
Q77	参照箇所 一部差し替え	p91 1. の【備考】に「段階の内部は、～自立した意味のまとまりが二つ以上あればその境目で区切って書き～」とあります。 《A》 p95【備考1】
Q78	一部差し替え	初めの2行を、《p92<処理3>にあるように外国地名も内部に3拍以上の意味のまとまりが二つ以上あれば区切って書きます。》に差し替え。
Q80	参照箇所 一部差し替え	p93【備考】 「『の』の前の語に～区切って書く。」となります。
Q81	用語変更	理解を損なう → 理解を妨げる
Q82	追加	《p93<処理>の参考にあるように第1つなぎ符をはさむことはほとんどありません。》を最後に追加
Q84	参照箇所	p62「コラム16」を参照してください。

第4章

Q85	一部差し替え	「～ので、②⑤⑥の点を一つだけ書けばよいでしょう。」
Q86	追加	最後に《なお、p100<処理2>の参考も参照してください。》を追加
Q87	追加	最後に《なお、p131 記号間の優先順位も参照してください。》を追加
Q89	削除	
Q90	削除	
Q91	参照箇所	p61～p63の原則、およびp84～p85 → p101～p104
Q93	参照箇所	p63
Q94	参照箇所	p66 → p110 p67 → p111
Q95	追加	最後に《p195「3. 数の略記」も参照してください。》を追加
Q96	削除	
Q97	後半削除	「その場合、～あります。」を削除。《p156「コラム30」を参照してください。》を追加

Q98	参照箇所	p169 3. (2)
Q100	追加	「～載っています。」の後に、「《4版ではp171に例があります。》を追加
Q101	追加	最後に《p113 1. 【備考】にありますので、参照してください。》を追加
Q103	削除	
Q104	参照箇所 一部削除	p120 2段落目をすべて削除。
Q106	参照箇所 一部差し替え	(p123 3. (2)、p131 1. (4)参照) 《Q》の回答を《p148 2. (1)を参照してください。数符付きの文中注記符の前では行移しできます。》に差し替え。
Q107	参照箇所 一部削除	p123 第2文（「表記法」にも～とあります。）を削除
Q109	差し替え	p119 【備考】を参照してください
Q110	参照箇所	p105 最後に《p132 参考も参照してください。》を追加。
Q111	参照箇所	p87 5. の(1) → p198 3. <処理2>
Q113	参照箇所	「表記法」の～「てびき」のp66 → p110 p66【備考】 → p133 (3)
Q114	削除	
Q117	用語変更 追加	区切り線 → 仕切りの線 最後に (p149 3. <処理>参照) を追加
Q118	追加	最後に (p148 <処理3>参照) を追加
Q119	一部変更	英語の斜線を《④⑤⑥ヤ》に変更。 「てびき」の用例の → p128「コラム25」の
Q120	用語変更	点訳挿入符
Q121	差し替え	情報処理点字の書き方は、p140の規則とp141「コラム27」を併せてお読みください。特殊記号は参考資料10 (p245)を参照してください。一般的なアドレスは、「てびき」の説明で書くことができます。⑤⑥の点は小文字です。数字の後ろに小文字のa～jが続く場合と数字の後ろにピリオドが一つ付いて、その後ろに小文字のa～jが続く場合は小文字が必要で

第5章

Q 123	削除	
Q 124	一部変更	最後の文を《ただ、「行末があきすぎる場合など」には、【備考】の(3)～(5)よりは、習慣上、(1)(2)を用いる場合が多いようです。》に変更
Q 125	削除	
Q 127	参照箇所	p153「コラム29」にあるように～
Q 129	途中まで差し替え	p 156「コラム30」を参考にしてください。見出しに小見出し符を付けて、～できます。
Q 132	参照箇所	p 125
Q 135	参照箇所 一部差し替え	初めの文を《p173の例を参考にしてください。》に差し替え。 2段落目を《p159 6. にあるように「見出しや引用文あるいは本文～明らかにするよう」に書きます。》と変更
Q 138	差し替え	「戯曲・対談などの書き方」(2)ト書きとして、「ト書きは、第1カッコで囲んで書き、前後ろを一マスあるいは二マスあけて書く」とあります。また～準じて書く。」とあります。p172の用例は対談ですので、～一マスあけてあります。なお、(笑) (泣)などは一般文章中でも前を一マスあけます。
Q 139	差し替え	p188 (2) ⑤にあるように、枠線の閉じだけが1行目にきても差し支えありません。④にあるように枠線の開きがそのページの最終行にくるのは避けま す。
Q 140	参照箇所	p181 例5
Q 141	参照箇所	第5章の「その3」
Q 142	差し替え	すべて削除して、《音訳では、雑誌の表紙の写真や記事に付いている写真なども、大切な情報として、目の代わりとなって説明しますが、点訳では、内容を読み進むのに必ずしも必要でない付加的な情報であれば省略することが原則になります。これは、耳から音として入ってくる情報と指で文字として読む情報の違いでもありますし、音訳・点訳の姿勢の違いでもありますので、必ずしも同じような処理をする必要はなく、それぞれの特徴を生かして情報を伝えることが望ましいと言えます。p186「コラム33」を参照してください。》とする。
Q 143	用語変更	1. の点訳者挿入符を「点訳挿入符」に
Q 146	用語変更	点訳者挿入符 → 点訳挿入符

Q 147	差し替え	すべて削除して《p 200「4. 目次」(5)に書き方をまとめましたので参照してください。》とする。
Q 148	差し替え	原文にはない言葉を書き加えますので、p200「4. 目次」(5)にあるように点訳挿入符を用います。
Q 150	差し替え	「てびき」では、p201<処理5>で15マス目から書くこととし、p202の用例でもそのようにしています。 《Q》《A》の最後の文「特に決まりはありません」を《p201<処理5>を参照してください。》に差し替え
Q 152	削除	
Q 154	参照箇所	(7)～(I)を①～④に
Q 159	第2段落差し替え	ただ、点訳に当たっては、p23～p24(8)にありますように、「現代文の中に歴史的仮名遣いの語句や文が挿入されているときは、現代仮名遣いに直して書くことを原則」とした上で「原文の種類や文脈によっては①～③の方法で書くことができる」となっています。
Q 160	参照箇所	「表記法」→「表記法 2001年版」 最後に《p97「2. 古文・漢文の分かち書き」の「参考」も参照してください。》を入れる。
Q 162	差し替え	p143の「3000人/k m ² 」の例を参照してください。人口密度の単位は、一般には、外(ニン)ヤkmキとなります。万人や千人などが単位の場合は、外(マンニン)ヤkmキなどとなります。血圧の数値の書き方は、最高血圧と最低血圧の数値の間を第1つなぎ符でつなく書き方をp127「コラム25」で示しています。
Q 163	差し替え	p85「4. 漢字や仮名で書かれた単位」を参照してください。「数20■エジプト■ポンド」と書きます。
Q 164	差し替え	「レターサイン」は記号の読み方の変更により「文字符」となりました。第4章その7「1. 英語」に外国語引用符の中で用いられる記号が示されています。文字符や終止符は縮約を用いるか、フルスペルで書くかにかかわらず用いられます。文字符は、ローマ数字の小文字を表す場合やローマ数字の後ろに文字が続く場合、数字の直後(あるいは、数字の後ろのコンマまたはピリオドの直後)に小文字のa～jが続くときなどに必要になります。終止符は、二重大文字符の効力を終わらせる働きをします。
Q 165	第1文差し替え	差し替え部分《第1章その6「3. 調査」で国語辞典の活用法について詳しく説明しています。》また、2段落目の「表記法」を削除。
Q 166	削除	